

大腸切除におけるクリニカルパスを活用した入院期間短縮と治療成績向上に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

大腸癌は、我が国において患者数の多いがんの一つであり、2021年の罹患率1位、2024年のがん死亡数2位となっています。治療法の進歩により治療成績は向上していますが、我が国では高齢の患者さんも多く、より安全で適切な治療および周術期管理が求められています。

済生会熊本病院では、大腸手術を受けられる患者さんに対して、クリニカルパスを用いた標準的な周術期管理を行い、安全で円滑な回復を目指した診療を実施しています。また、国の医療制度の改定や最新の知見を踏まえ、より適切な周術期管理を実践できるよう、クリニカルパスの内容を定期的に見直しています。本研究では、これまでの診療記録を後ろ向きに収集し、検査結果、合併症、入院期間などの短期成績および予後等の長期成績を解析することで、今後の診療の質向上に役立てることを目的としています。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2012年1月～2025年12月に当院で大腸切除を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無、術式、術後短期成績、術後長期成績、医療費削減効果など

使用開始予定日：2026年6月11日

研究予定期間

2026年6月11日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 清住雄希
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 清住 雄希

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)